

参考資料

伊藤忠商事(株)
取締役会長 丹羽宇一郎

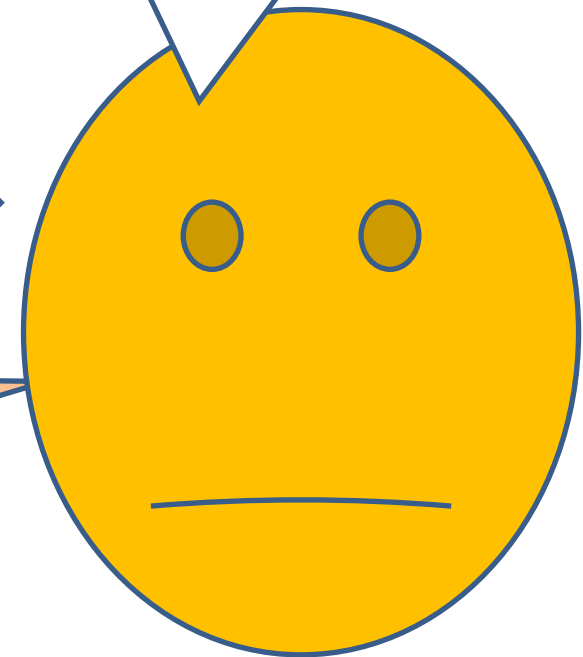
その1: 道路の管理者を分り易く 編

道路に危険箇所を発見

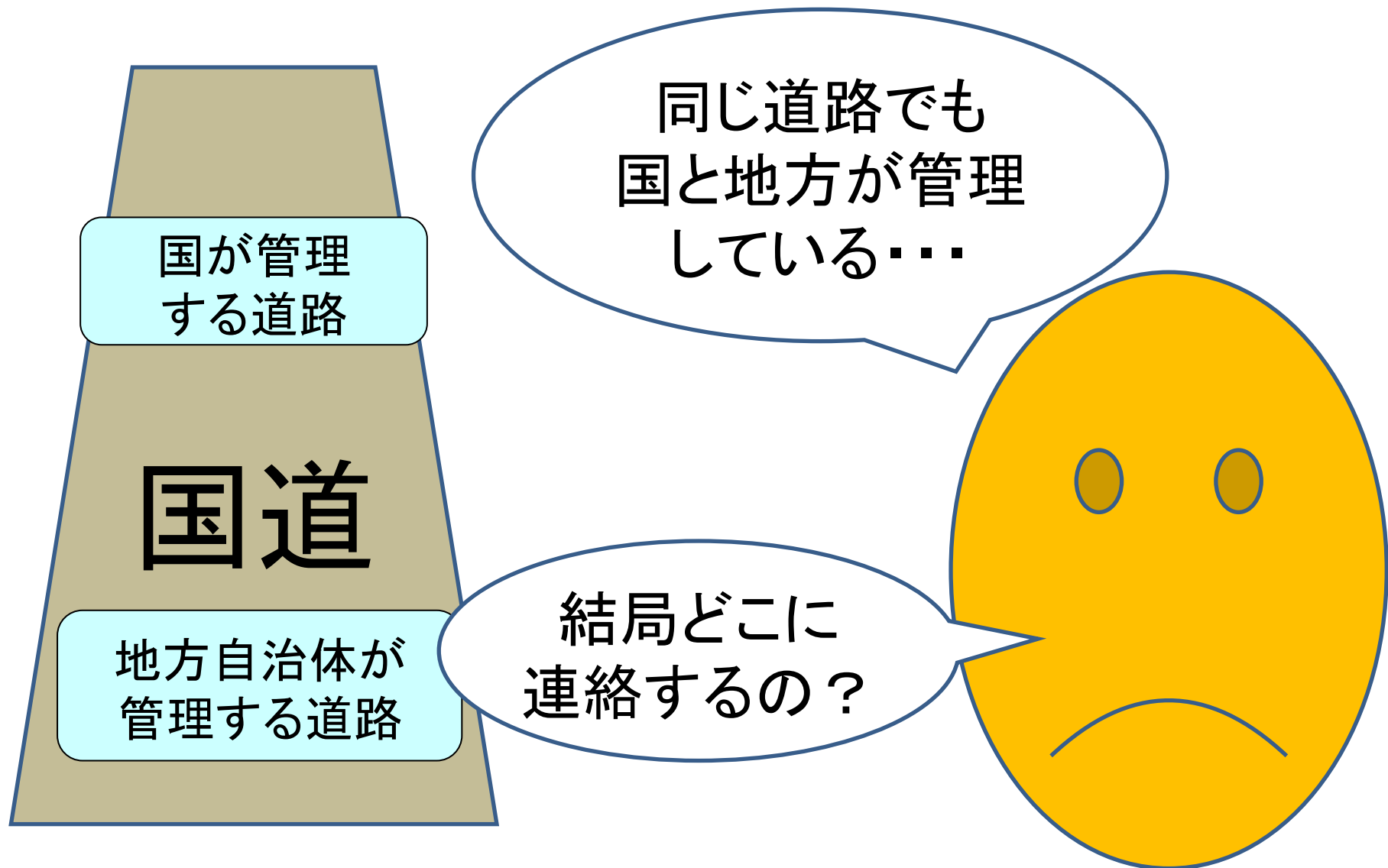
道路に穴が
あいている

ガードレール
が破損

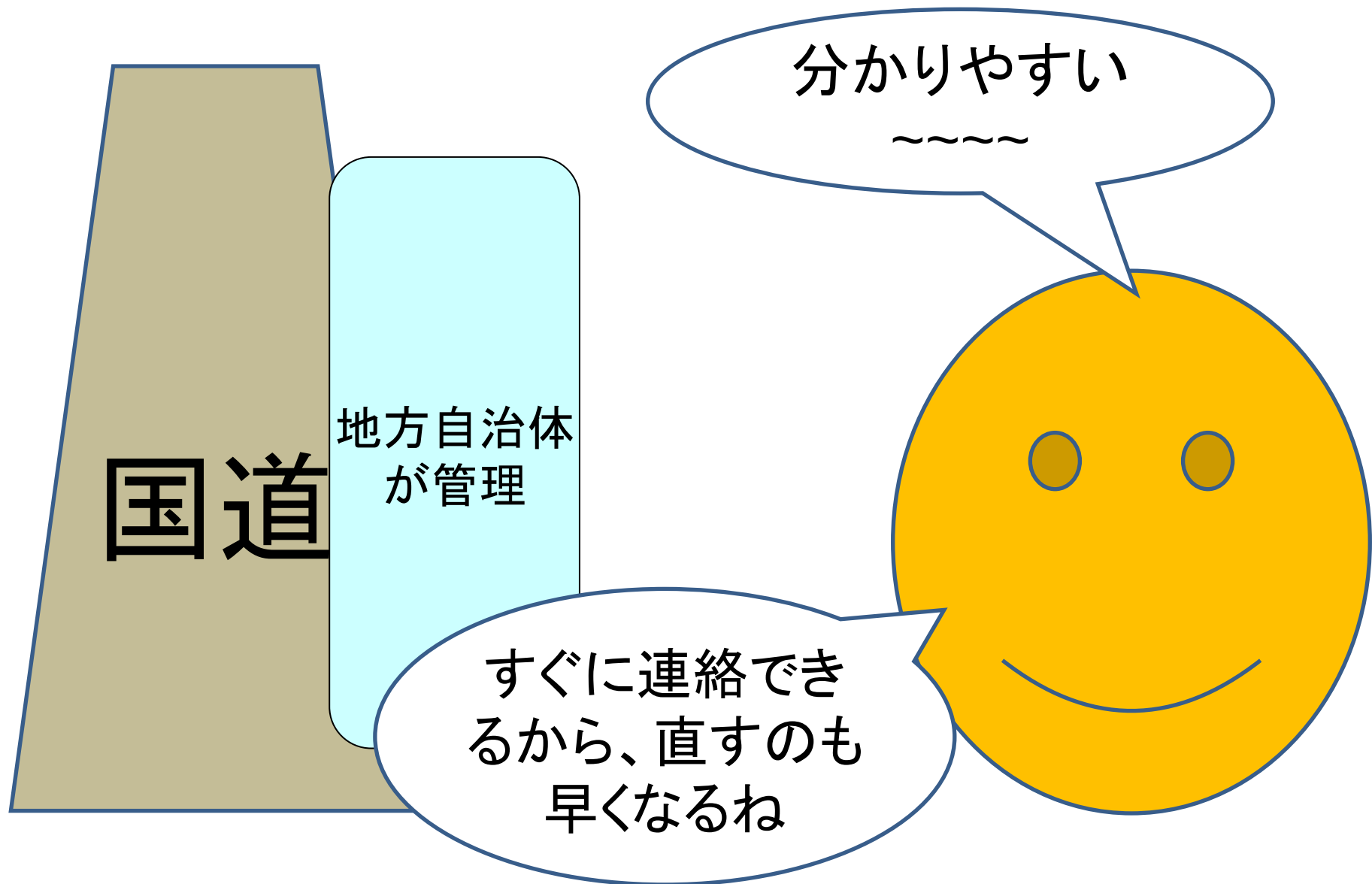
早く直さないと
危ないよな
連絡しないと



現在のように、道路の管理者が別々だと・・・

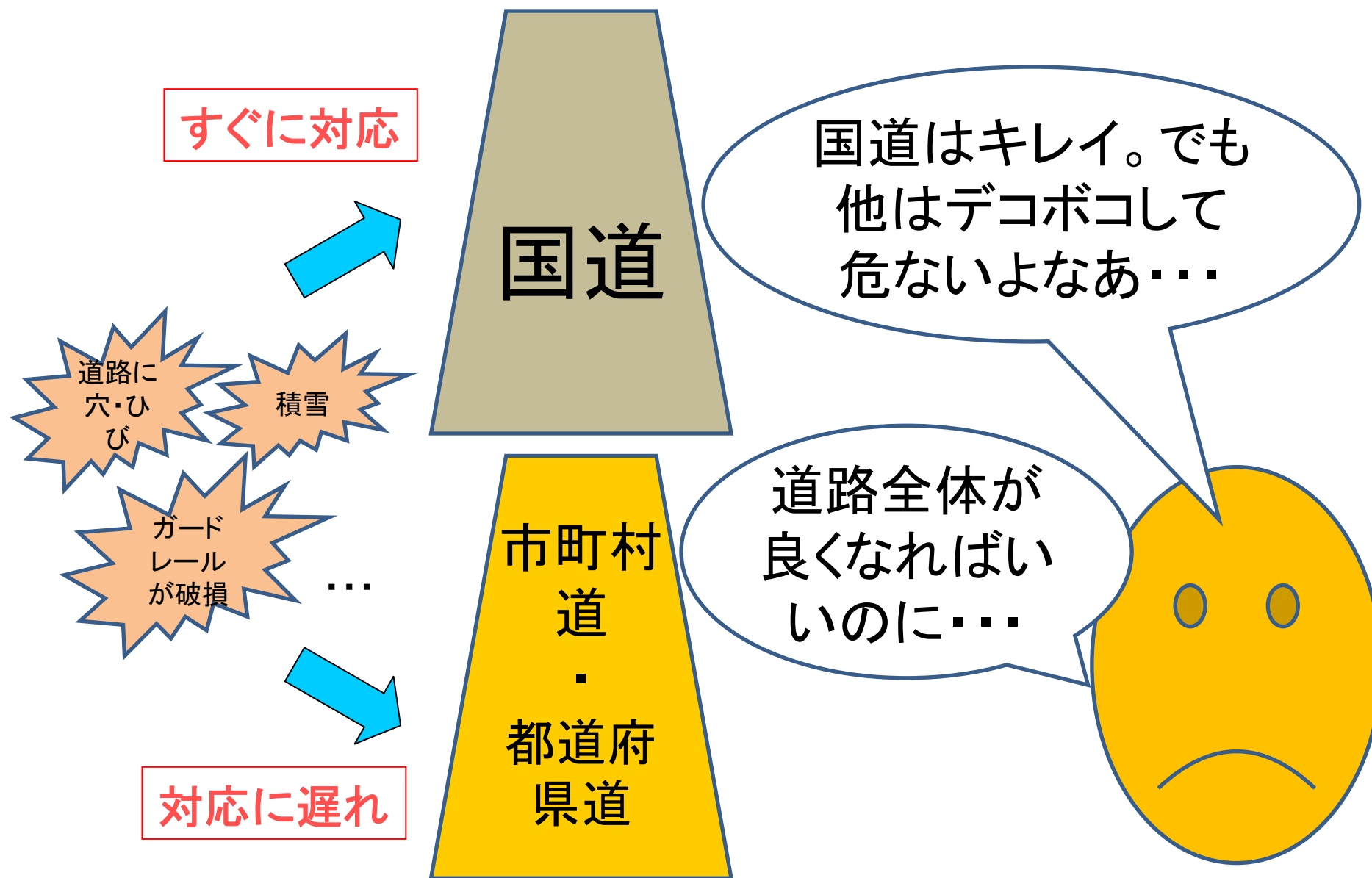


道路の管理者を地方自治体に一元化すると

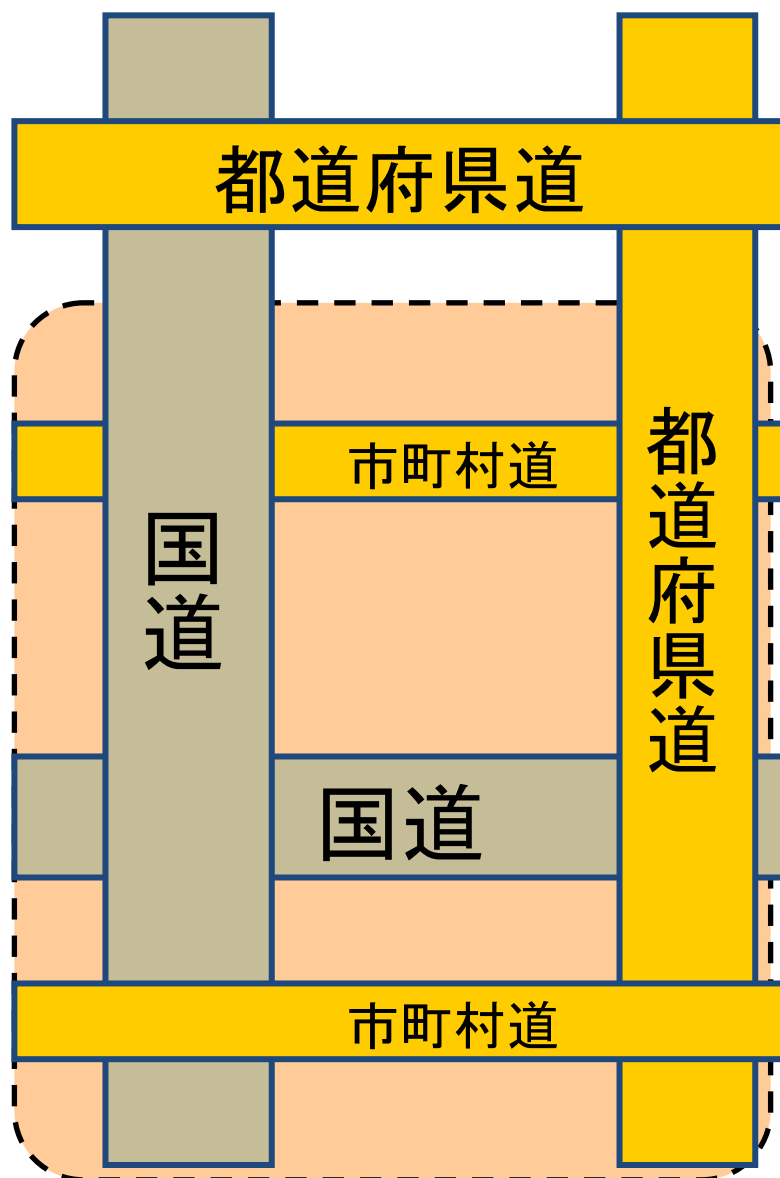


その2:
地域の道路全体を安全・快適に 編

道路の安全性や快適性に差がある



道路に統一感がない



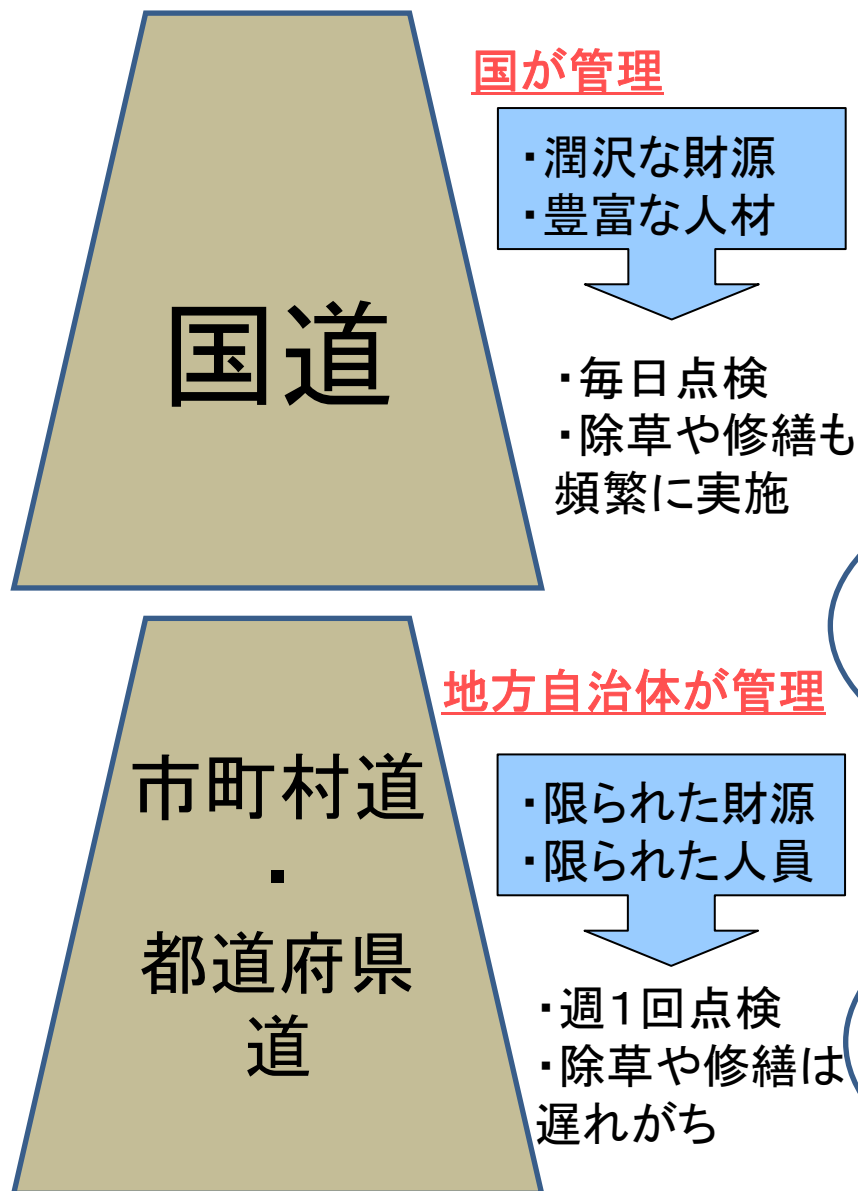
木や花がバラバラで
一体感がないなあ・・

一体感がある
まちづくりが
したいなあ・・

そうすれば、
もっとキレイ
で快適なのに



現在のように、道路の管理者が別々だと・・・



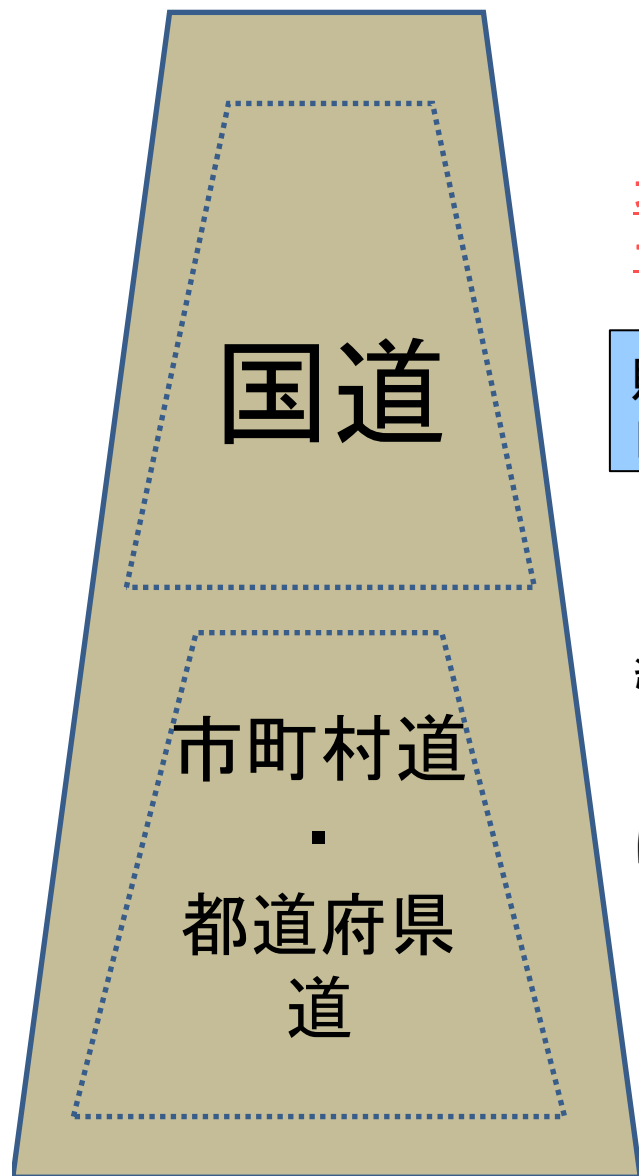
同じ道路なのに、
何でこんなに差が
あるんだろう

危ない所があるの
にどこに連絡すれ
ばいいのか・・・

国道だけじゃなく、
全体が良くなれ
ばいいのに・・・



道路の管理者が地方自治体に一元化されると



地方自治体が
一体的に管理

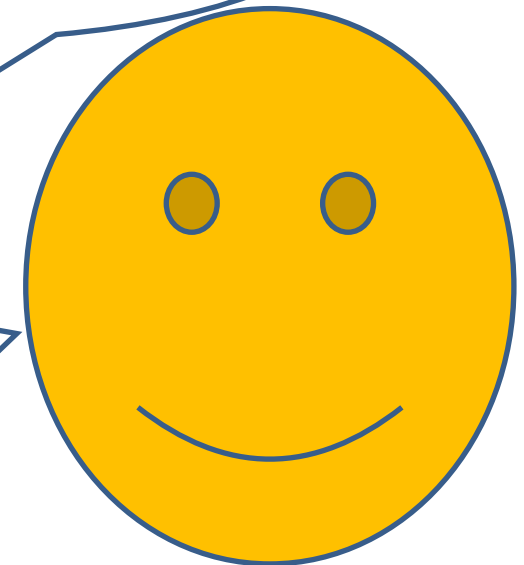
財源・人員を
自由に活用

- ・実情に応じた維持管理
- ・迅速な対応
- ・道路を一体的に管理

道路全体が安全・
快適に使えるように
なったね

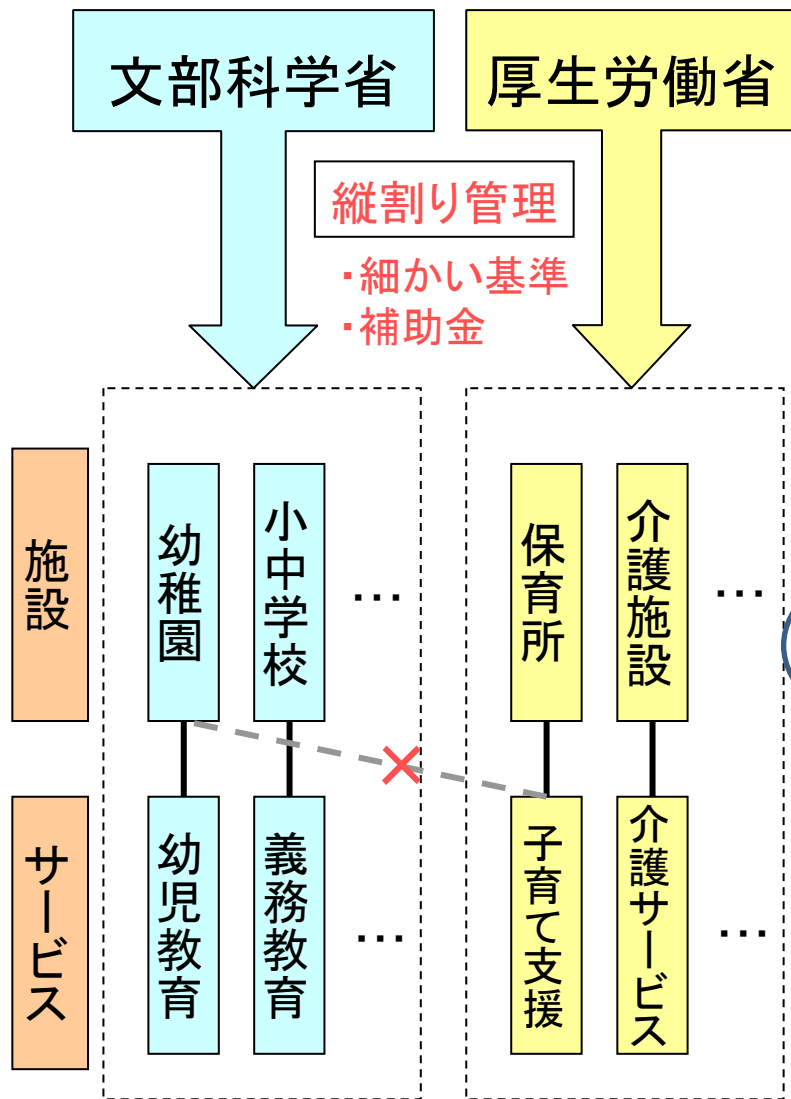
壊れてもすぐに
直るようになったね

一体感のある
魅力的なまち
になったね



その3: 公共施設を有効に活用 編

公共施設・サービスを国が縦割りで管理

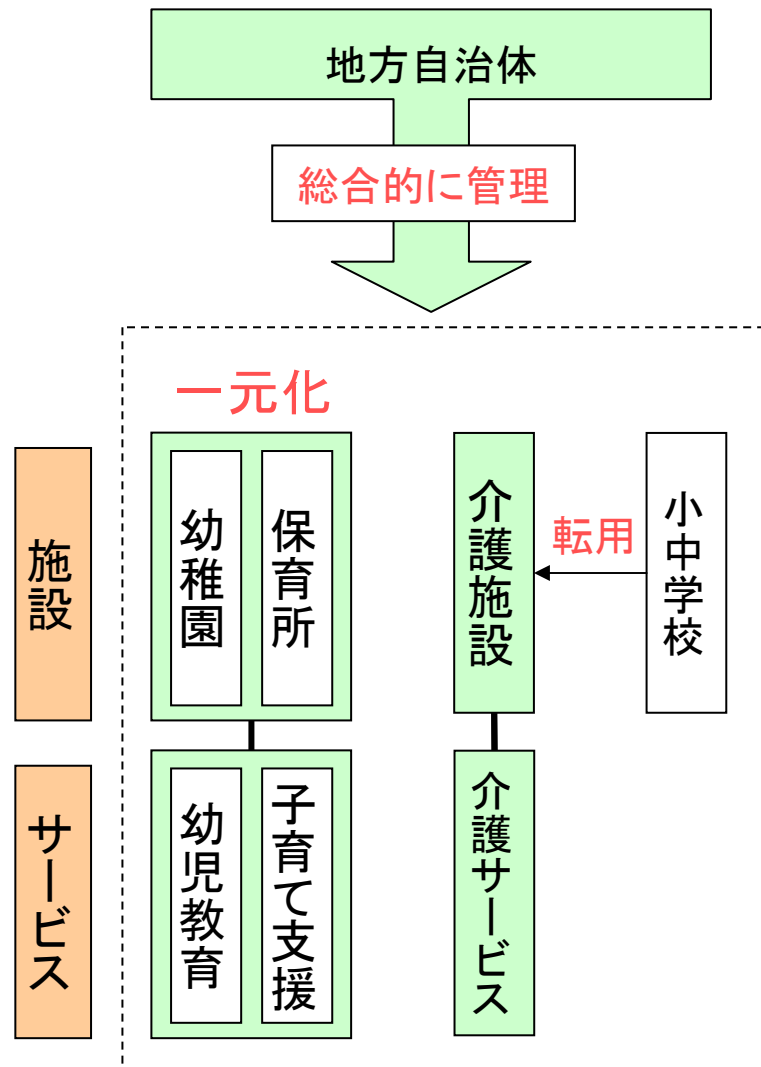


施設を転用したら、
補助金を返却するの!?

もっと自由に決め
られればいいのに

施設とサービスを縦割り管理

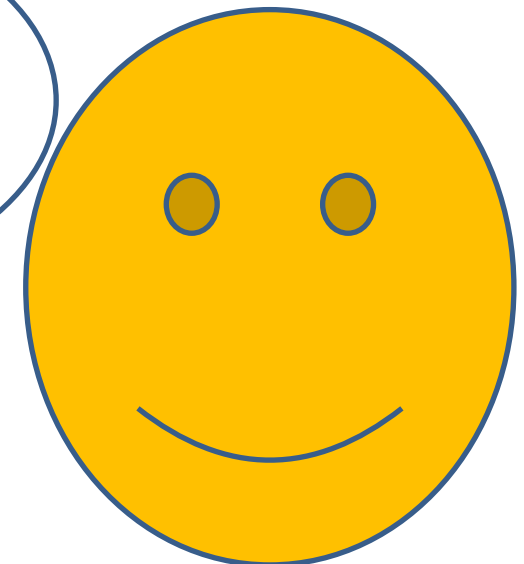
地方自治体に管理を任せると



施設とサービスを総合的に管理

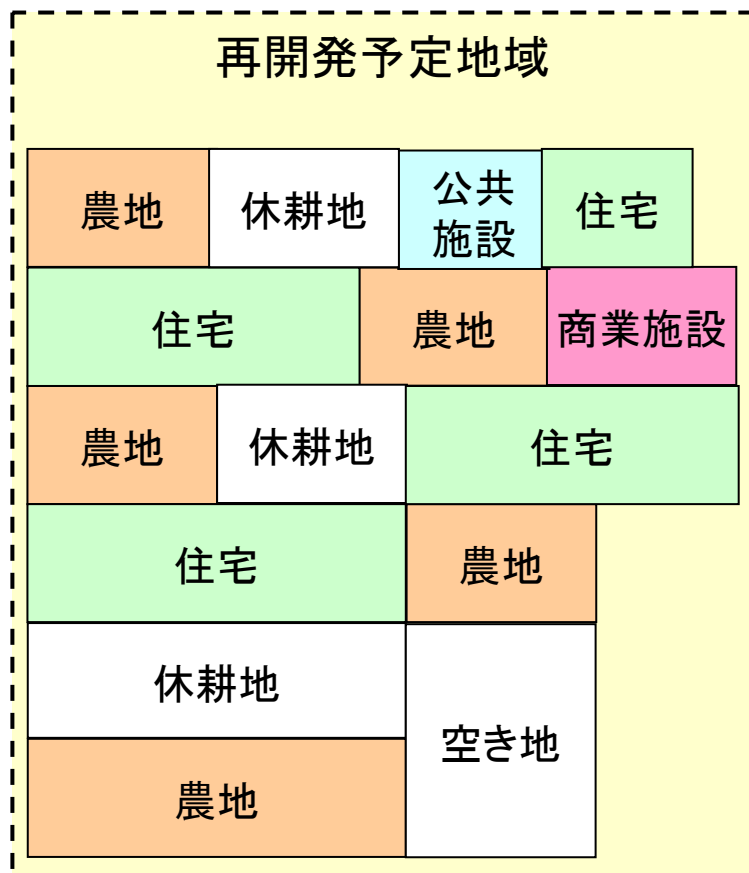
保育と幼児教育を
一体で提供できる
から安心！

転用すれば、
新しい施設もい
らない



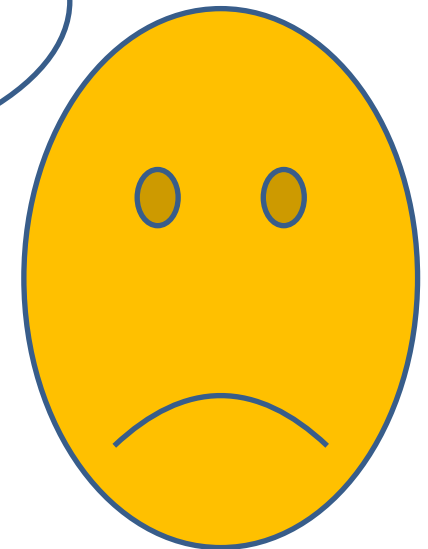
その4: 空いている農地を有効に活用 編

農地の転用は国が管理

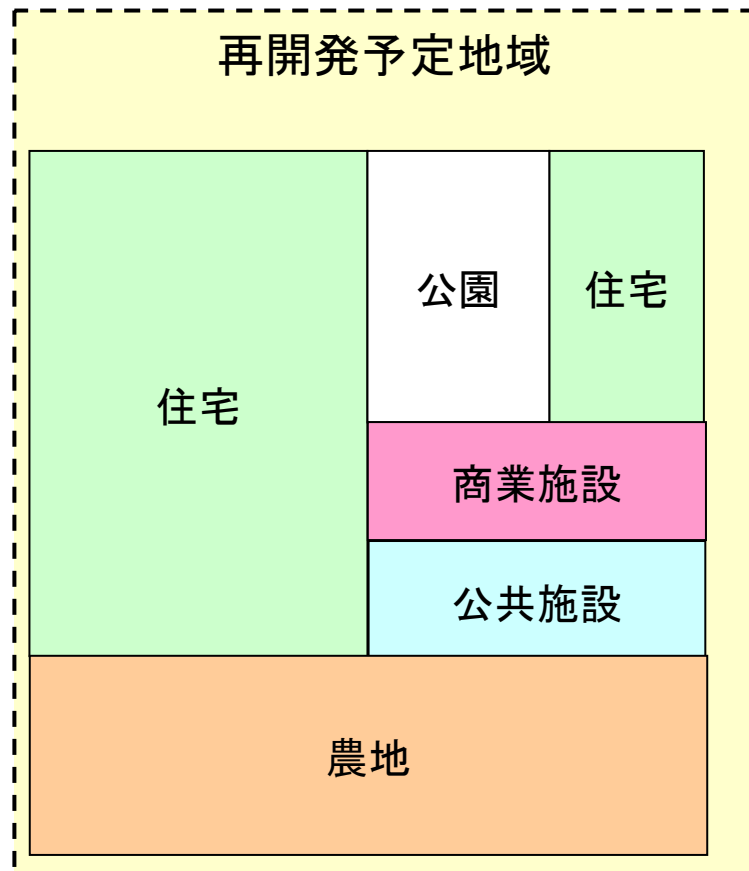


休耕地に学校をつくりたいのに国の許可がいる...

地域のことに
なんで国の許可
がいるの!?

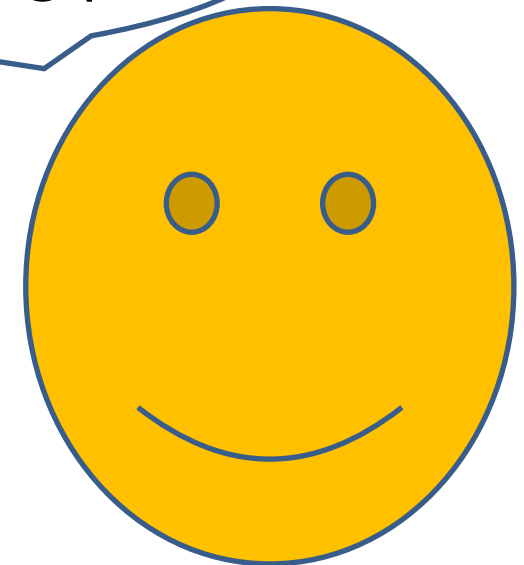


農地の転用は地域で判断



キレイで快適な
まちになったね。

農地ももっと
有効活用できるね



その5: 地域の足をもっと便利に 編

地域の交通手段が減ってきているが...

自家用車を使って
地域の人を運送したい！

有償で運送

無償で運送

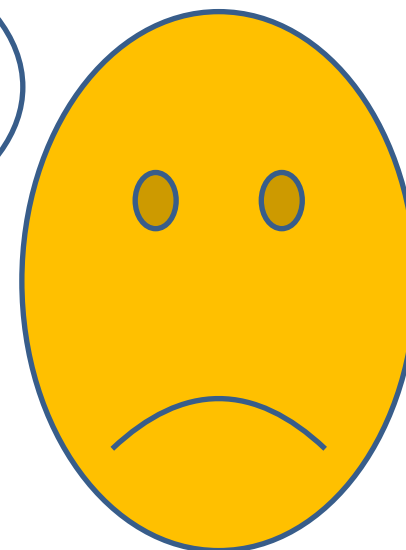
OK

条件を満たせばOKだが...

- ・運営協議会の設置と合意
 - ・国に登録
- という高いハードルで事実上困難

バスの数が減って
とても不便...

近所の人
が送迎できれば
便利



地域の裁量に任せれば

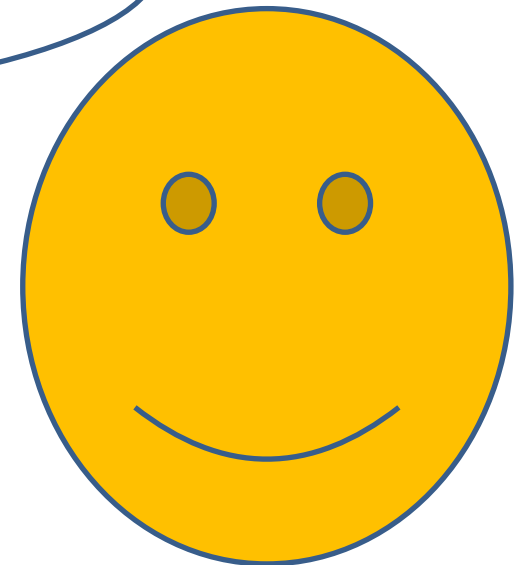
自家用車を使って
地域の人を運送

有償で運送

OK

頼みやすいから、前より
外出しやすくなったね

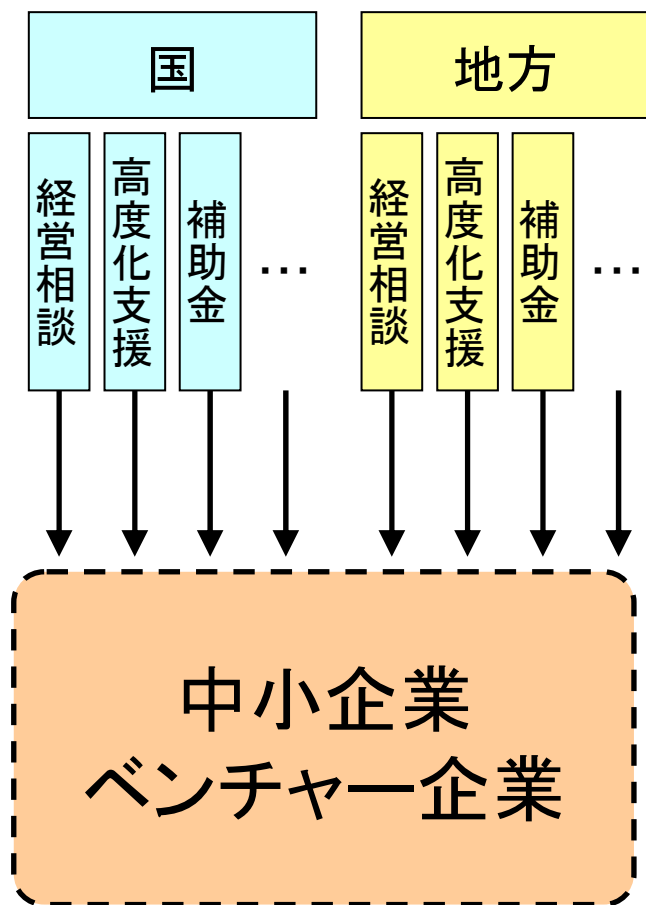
お年寄りが無理に
運転しなくてもいいんだ



その6:
二重行政を解消し、
地元企業の支援を充実 編

国と地方自治体が同じような産業振興施策を実施・・・

類似の支援を実施

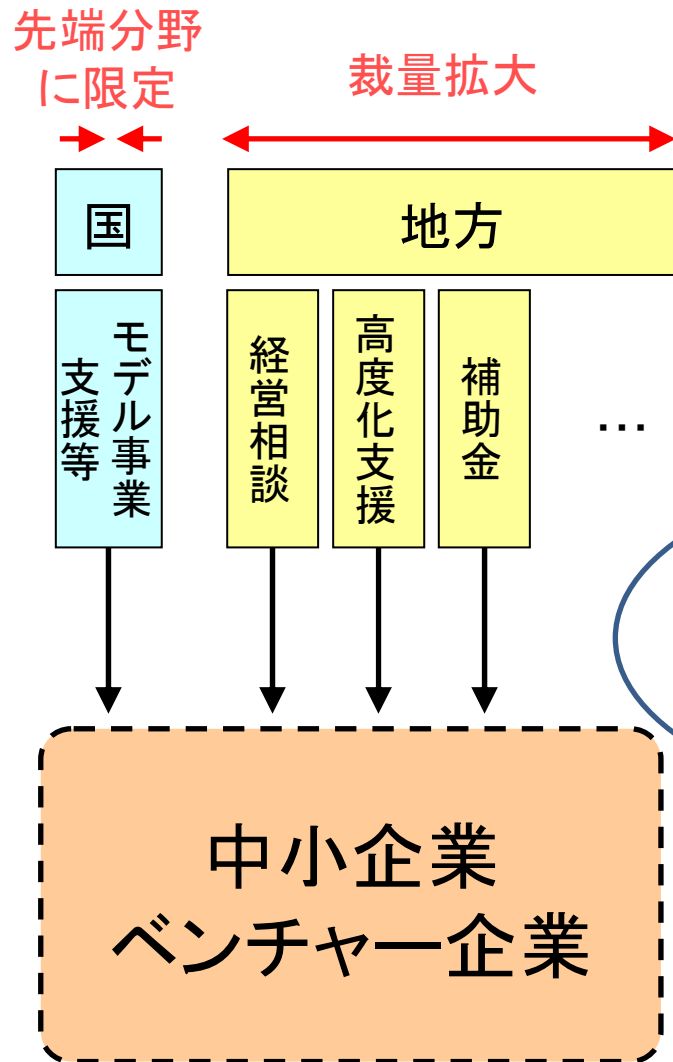


同じような支援を
やる必要あるの？

地域の産業は、
地方が一番
分かってるのに



類似の支援事業を地方に一元化すると・・・



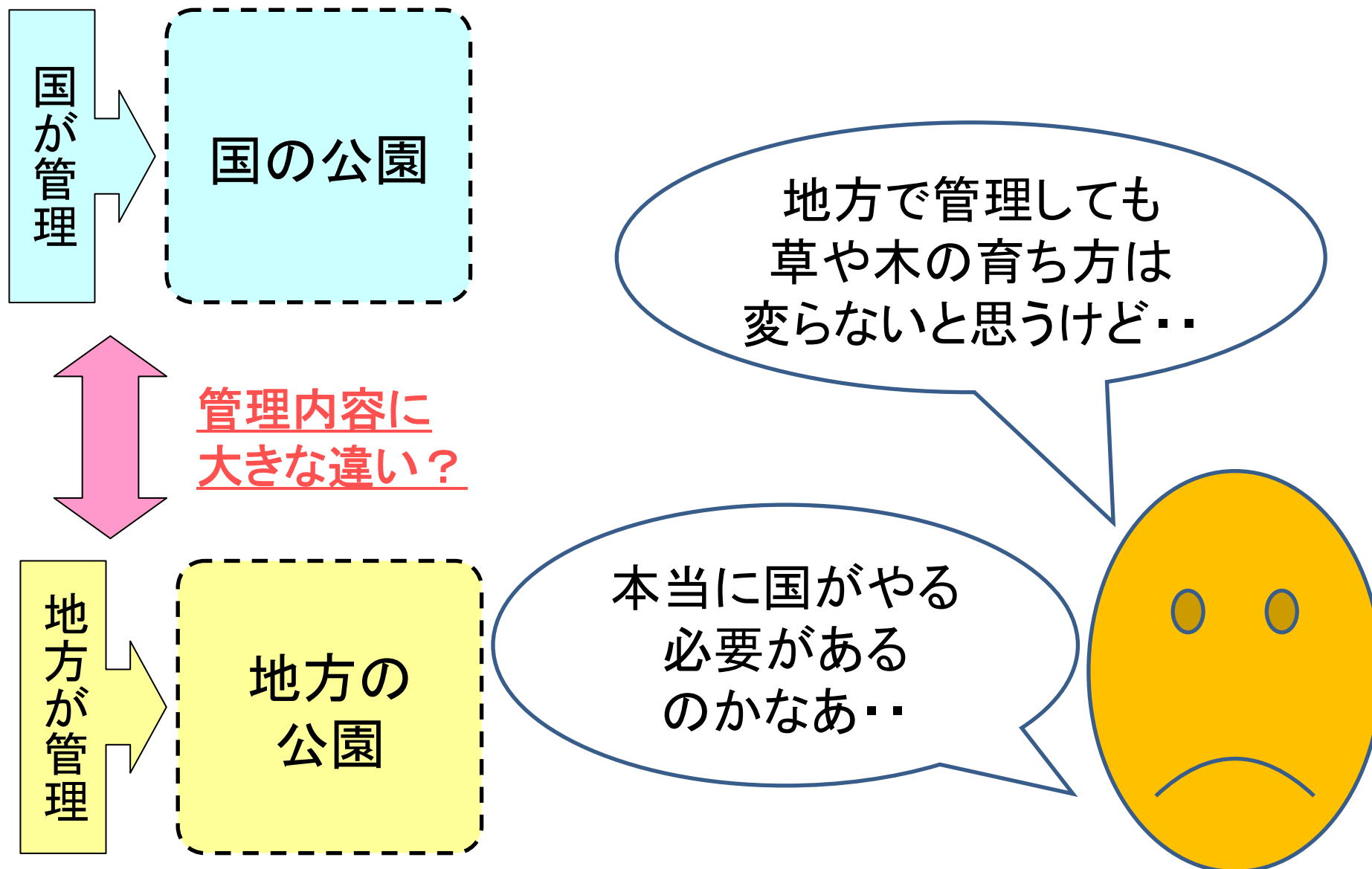
「ひとづくり」等と
あわせて、じっくりと
産業を振興

予算の自由度が
高いから、大胆な
施策ができる！

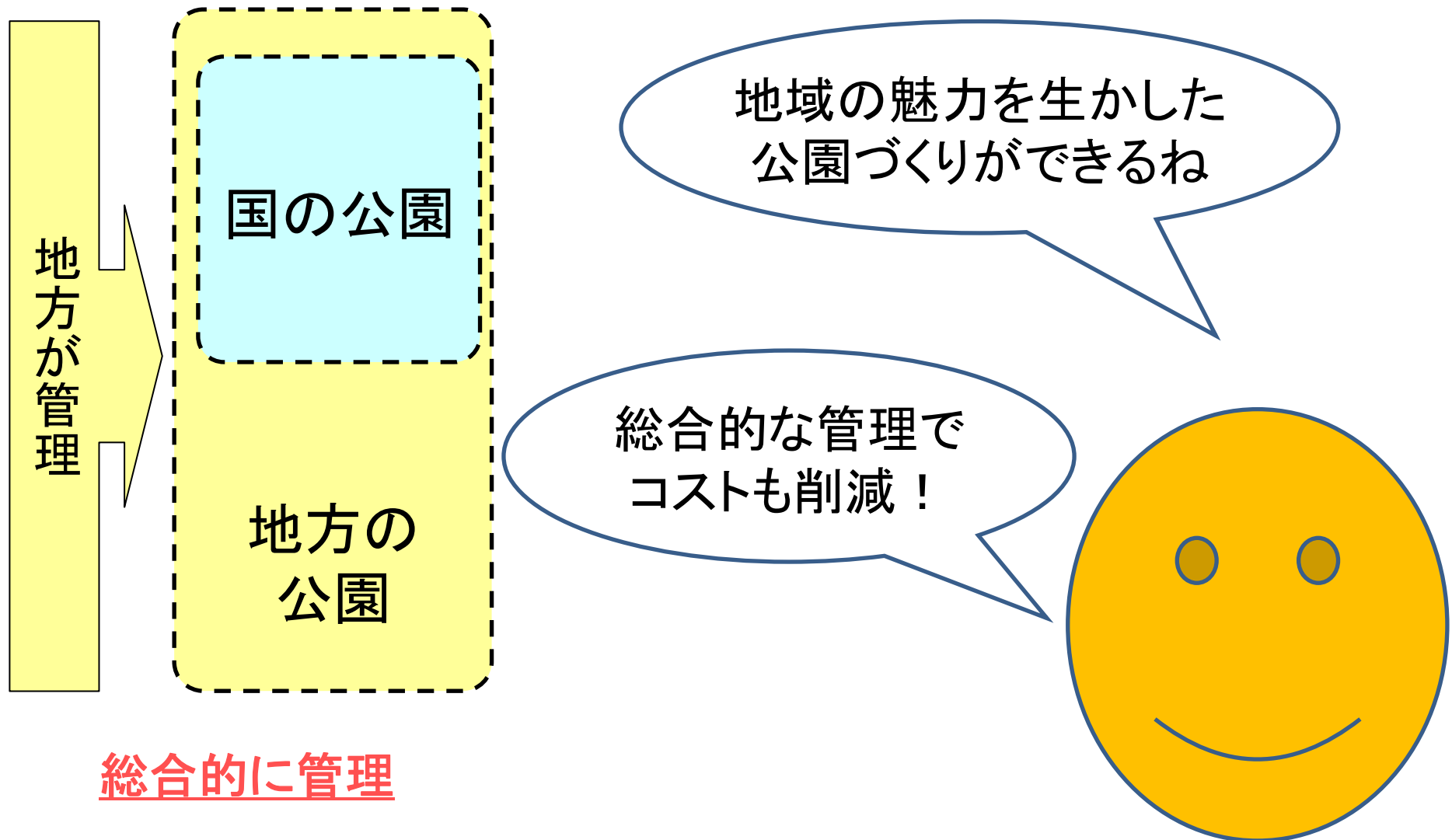


その7:
二重行政を解消し、
地域の公園を有効に活用 編

専門性が必要なので国がやるというが・・・



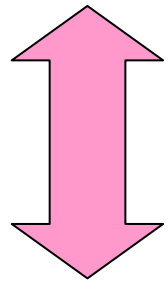
地方に管理を任せると



その8:
二重行政を解消し、
職業訓練事業を強化 編

国と地方の役割が違うと言うが...

国の
職業訓練事業



利用者にとっても
役割が違う？

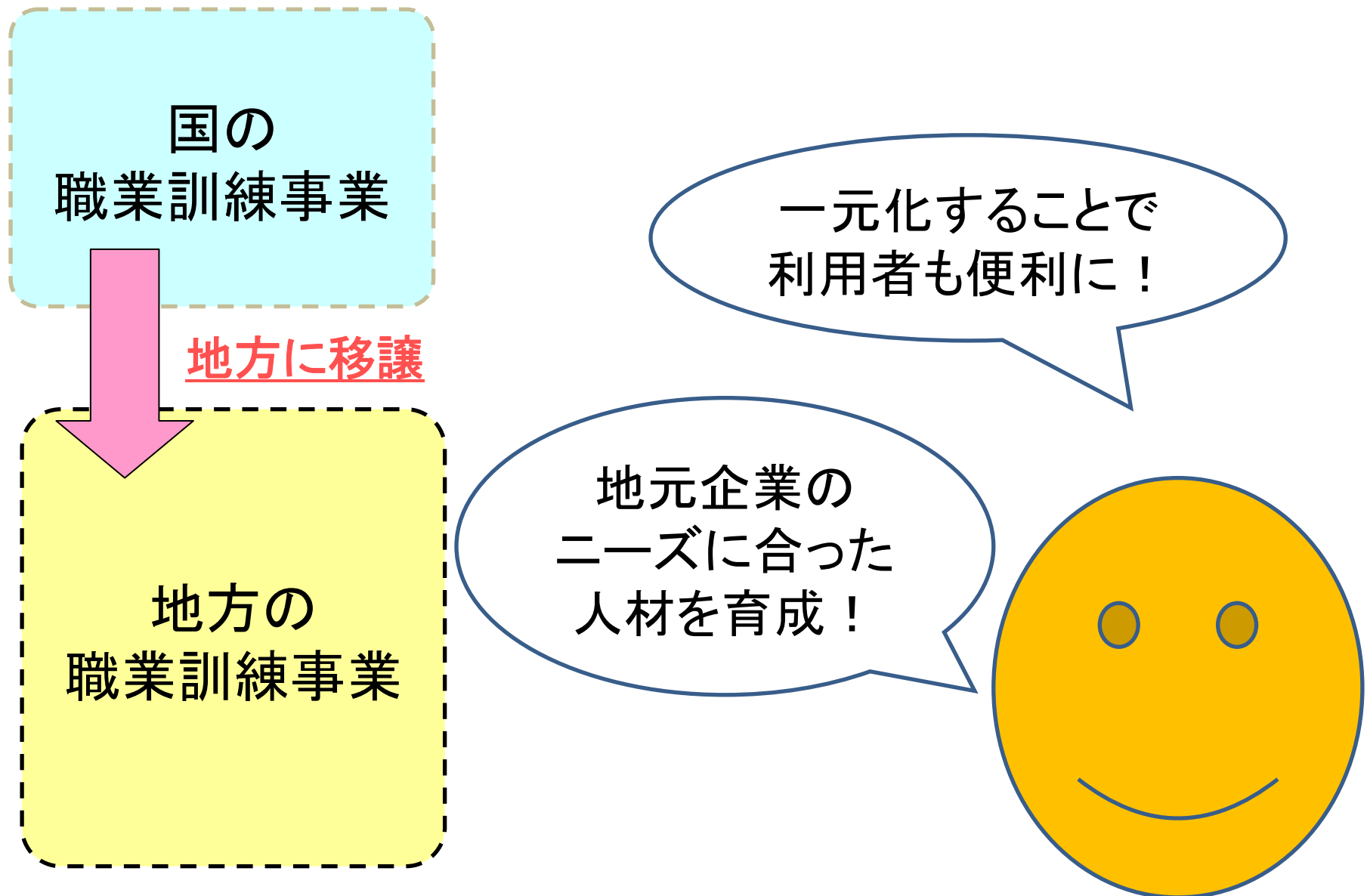
地方の
職業訓練事業

国も地方も離職者
訓練をしているの？

目的は同じなのに
別々にやる必要
あるの？



地方に事業を一元化すると・・・



「第1次勧告」(原案)の構成 ～ 生活者の視点に立つ「地方政府」の確立 ～

はじめに

- ・審議の経過
- ・第1次勧告の提出に当たって(委員会の決意)

第1章 国と地方の役割分担の基本的な考え方

- (1)「地方が主役の国づくり」に向けた今次分権改革の理念と課題
(「中間的な取りまとめ」のエッセンスを含む。)
- (2)国と地方の役割分担
 - ・国が重点的に担うべき役割(法制的な仕組みの横断的な見直しを含む。)
 - ・国と地方の役割分担のメルクマール
- (3)広域自治体と基礎自治体の役割分担

第2章 重点行政分野の抜本的見直し

- (1)くらしづくり分野関係
幼保一元化・子ども、教育、医療、医療保険、生活保護、福祉施設の最低基準、民生委員、公営住宅、保健所・児童相談所、労働
- (2)地域づくり分野関係
土地利用(都市計画・農地・森林)、道路、河川、防災、交通・観光、商工業、農業(土地利用を除く)、環境

第3章 基礎自治体への権限移譲と自由度の拡大

(1) 基礎自治体への権限移譲の推進

① 基礎自治体への権限移譲の考え方

② 基礎自治体への権限移譲の方針と権限移譲を行うべき事務

(別紙1)「基礎自治体への権限移譲を行うべき事務」

③ 条例による事務処理特例制度の活用促進

(2) 補助対象財産の財産処分の弾力化

・ 補助対象財産の転用等に対する制限の改善

(別紙2)「補助対象財産の転用等に係る制限の改善に関する措置について」

第4章 現下の重要二課題について

(1) 道路特定財源の一般財源化について

(2) 消費者行政の一元化について

第5章 第2次勧告に向けた検討課題

(1) 国の出先機関の改革の基本方向

- ・国と地方の役割分担と国の出先機関の見直しの視点
- ・見直しの進め方

(別紙3)「国の出先機関の見直しについて(事務・権限の仕分けの考え方)」

(2) 法制的な仕組みの横断的な見直し(義務付け・枠付け、関与)

- ・横断的調査の実施
- ・見直しの進め方
- ・地方自治法制関係事項の見直し

おわりに

(分権型社会に向けた税財政構造の構築についての今後の議論の方向を含む。)